



# だいち

地域に生きる

編集者：「だいち」広報委員会

〒349-0101 埼玉県蓮田市黒浜 1045-1

TEL 048-764-3881

FAX 048-764-7788

HP <http://minuma-hukushi.com/>

## 第14回大地運動会

5月25日、交流スペースにて、運動会を開催しました。今年も仲間から希望があり、赤、白、緑の3チームに分かれ、競技を行いました。

今年の競技は、爆弾回し、借り物競走、的あてを行いました。序盤は赤組が着々と点を稼ぎ、このまま赤組が優勝かと思われましたが、最終競技の的あてで、関口さんが高得点的にポイントをあて、緑組の優勝で幕を閉じました。

後日、全体会にて仲間たちに運動会の感想を聞くと、「とても楽しかった！」「またやりたい」というような声があり、今年も無事開催することができて良かったと思いました。

宮本 歩実（職員）



## 「コロナ対策として

「一〇」補助金として支給されたお金で、タブレットを購入しました。アナログな私は、タブレットを何に使ったらよいかわからず、確実に宝の持ち腐れになるなあ...と思っていました。しかし、強いOTが、なにやら色々いじって、会議に使えるようにしてくれました。時代はペーパーレス。大地は会議で紙を使用することが多いので、少しでも経費削減できるようにと考えたようです。

また、排痰リハビリや、点滴などをしていて動けない仲間たちが、タブレットで動画を観たり、音楽を聴いたりして楽しんでいました。たぶん、もっと活用方法があるのでしようが、私にはこれが限界。いいアイデア募集中!!

中山 郁（看護師）

## ちゅう房☆より



コロナで出かけることができない仲間や職員たちの慰めになればと思い、希望献立や旅行に行った気分になれるよう地域のメニュー等を取り入れ、提供しています。先日行った、沖縄に行ったつもりメニューの沖縄そば風うどん（沖縄そばが手に入らなかったため）とマーマーナーチャンプルー（もやし炒め）サータアンダギーのメニューは、「すごくよかったから、またやって」と仲間や職員に大好評でした。失敗することもあります、食べたことのないものにも果敢に挑戦し、アクティブな食事提供を頑張りたいと思います。

野田沢 千恵（厨房職員）

## ご協力お願いします！

『大地』では、地域の皆さまに以下のご協力をお願いしています。

### ①ボランティア募集

館内の清掃や洗濯物の整理、ちょっとした身の周りのお手伝いや、外出の付き添いなどのボランティアさんを募集しています。

ボランティア担当（面来、野村）

### ②ウエスの材料、バザー品（古本、雑貨）

仲間達が仕事で使う、ウエス製品の材料→綿100%の衣類、タオル、シーツ。また、バザーなどで販売するための古本（文庫本、マンガ）、雑貨（家庭で不要になったまだ綺麗で使える物）を募集しています。

是非ご協力お願いします。

ウエス、古本担当（野村、北隅）

### ③白地のタオル

食事の際に、台ふきとして使っている白地のタオルが不足しています。ご協力、宜しくお願い致します。

みやの いろいろ

なかよく  
したいなあ。

そとにでるときは  
まずくをしてでかけよう  
かえったらきがえてね

忠司のコーナー

みんなあかるく



## 新任職員自己紹介

4月から「大地」に新任職員として配属されました遊佐大地です。

みぬま福祉会では、手伝いやボランティア・宿直のアルバイトでお世話になっていました。大地・太陽の里でアルバイトをさせていただき福祉関係の道に進みたいと思いました。日々仲間との関わりの中で成長していきたいと思っています。

「考えるな、感じる」という太陽の里施設長の言葉を胸に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

遊佐 大地（職員）

## 喀痰吸引研修を受けて

コロナ禍にあり、対面での講義は難しく、まず8時間のネット動画による講義を視聴した。動画の中で、支援者は利用者との人間関係を築き信頼を得る事の重要性が、話されていた。在宅支援も入所支援も、また健常者の人間関係でも同じことが重要と考える。

利用者、職員同士、利用者家族、福祉に携わる関係団体の方々。職員は多くの方々と対話し、仲間たちと自分たちの未来が明るいものになるように、回結していきたい。しかしコロナ禍において、大切な人たちとの距離をとらなくてはならず、直接対面できない事の不自由さをどんな業種でも感じているのではない。

障害を持つ仲間たちの支援の現場は、もちろん直接支援が多い。支援中に仲間の表情や緊張など観察しながら、対応の変化を考えていく。職員の技量が求められるのは確かだが、直接関わられるからこそ出来る事である。

直接ひとと関われる職場がある事、自分たちを必要としてくれる人たちがいる事に感謝したい。

「みんな、ありがとうね。吸引も辛さが少なくなるように努力するよ。」

藤村 卓也（職員）

## 園芸療法 父の日プレゼント作り

6月の園芸療法では、父の日のためにプレゼントを作りました。画用紙に折り紙で作った服とネクタイを貼りペンやシールで色や飾りつけを行い、画用紙を折りたんだでその中に瓶をつけ、生け花が活けられるように作りました。最後に各々お父さんに感謝のメッセージを書きました。「コロナで会えないけど元気になっているよ」「お父さん天国で見守ってね」などお父さんのことを考えながらプレゼントを作りました。

コロナ禍の中で大地に来られない家族もいるので、全員ではないですが父の日間に間に合うように特別に郵送しました。家族の方もとても喜んでくれて、大地に電話をかけてくれる家族もいたので、仲間達もとても喜んでくれました。

堀江 正人（職員）

